

## 🎣11月は釣り海難防止活動🎣

東北地方では、釣り中の事故が11月に最も多くなる傾向にあることから、第二管区海上保安本部では、11月の1か月間を「釣り海難防止活動」期間とし、釣りをされる方や釣具店などの関係者に対して、集中的な事故防止の呼び掛けを行います。

**ライフジャケット  
を着用！**



**気象・海象を確認！**



**複数人で行動！**



**危険な場所には  
立ち入らない！**

DO NOT  
ENTER

**立入  
禁止**



第二管区海上保安本部  
宮城県塩釜市貞山通3-4-1

海の安全推進本部  
(代表) 022-363-0111

海の「もしも」は**118番**

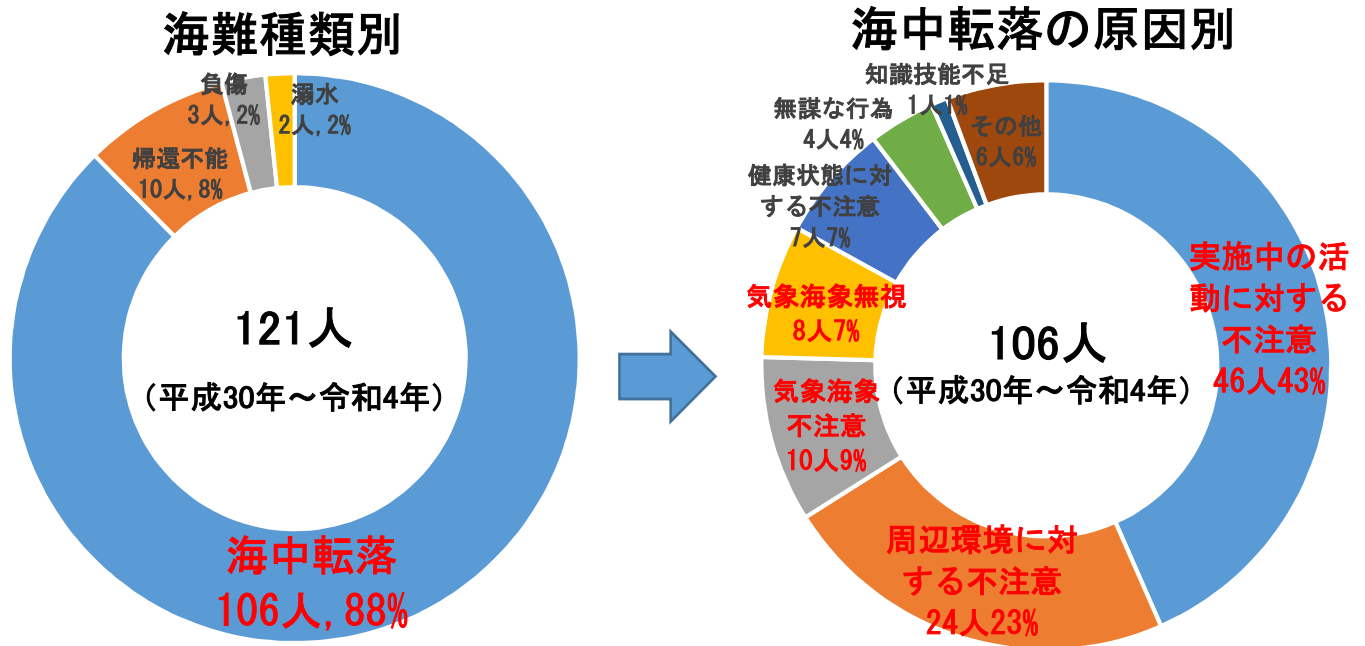
ウォーターセーフティガイド🔍



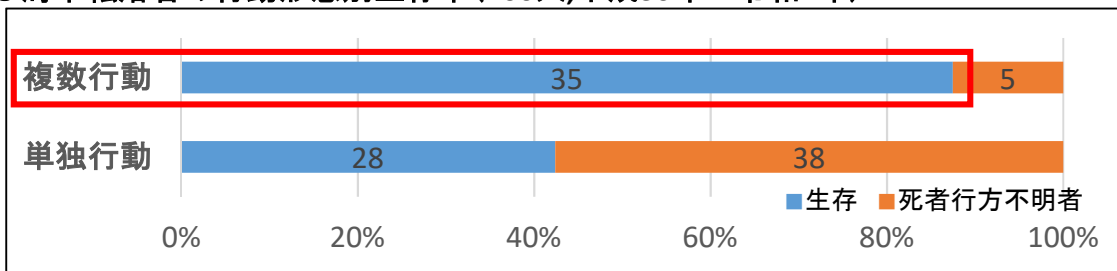
マリレ情報よろず屋🔍



# 東北地方における釣り中の事故の発生状況



○海中転落者の行動形態別生存率(106人,平成30年～令和4年)



**複数行動  
生存率  
88%**

## ○傾向と対策

釣り中の事故では**海中転落**が最も多く、原因別では、

- ・実施中の活動に対する不注意  
(防波堤の踏み外し、夜間の照明器具の不使用や性能不足等)
- ・周辺環境に対する不注意  
(磯場等滑りやすい場所での転倒、防波堤上の構造物へのつまづき等)
- ・気象海象不注意  
(警報・注意報発表中、気象悪化が予想される中での活動等)

といった**自己の過失**によるものがほとんどです。

「**ウォーターセーフティガイド**」を活用して、海や釣りに関する基本的な知識の習得や適切な装備の確認し、「**海の安全情報**」を活用して気象情報の収集を行きましょう。

また、海中転落者の行動形態別生存率では、**単独より複数人での行動**の方が、生存率が倍以上高くなっています。

釣りをする際は、**ライフジャケット**を着用し、**仲間や家族と一緒に釣りを**楽しみましょう。

